Ⓑ

平成 25 年度　第 1 次試験問題

財務・会計

1 日目　　11：30～12：30

1. 開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。
2. 監督者の指示に従って、マークシートに受験番号と生年月日を次のとおり記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置いて、試験開始の合図があるまでお待ちください。

(1) 受験番号の記入
受験票に印字されている受験番号を、該当欄に記入してください。

(2) 受験番号のマーク
受験票に印字されている受験番号を、受験番号のマーク欄にマークしてください。

(3) 生年月日の記入
受験票に印字されている生年月日を、該当欄に記入してください。

〔記入例〕 昭和 59 年 3 月 7 日生まれ→

昭和	5	9	0	3	0	7

3. マークシート記入上の注意事項
次の事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。

(1) HB または B の鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、きれいにマークしてください。鉛筆やシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●					 うすい

(2) 修正する場合は、消しゴムできれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。

(3) 所定の欄以外にマークしたり、記入したりしないでください。

(4) マークシートを汚したり、折ったりしないようにご注意ください。

(5) 解答は、選択肢または解答群の中から 1 つ選び、所定の解答欄にマークしてください。

4. マークシートは、必ず提出してください。
5. 終了の合図と同時に筆記用具を置いてください。
6. 試験開始後 30 分間、試験終了前 5 分間は退室できません。

Ⓑ

DKJC-1B

第 1 問

伝票式会計は、分業による経理処理の効率化のための工夫として広く採用されている。伝票式会計に関する以下の設問に答えよ。

（設問 1 ）

伝票式会計に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　伝票式会計を導入している場合、売上戻りは売上伝票に記入される。
b　伝票式会計を導入している場合、仕訳帳は利用されない。
c　伝票式会計を導入している場合、仕訳日計表には売上伝票と仕入伝票を集計しない。
d　伝票式会計を導入している場合、補助簿の記入は仕訳日計表を利用して行う。

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と c
ウ　b と c
エ　b と d
オ　c と d

（設問２）

本日における伝票の一部が以下に示されている。売掛金勘定の本日の残高として最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、昨日の売掛金勘定は借方残高120,000円であった。

入金伝票　No.101
売掛金（A店）　￥60,000

入金伝票　No.102
受取手形（B店）　￥70,000

売上伝票　No.401
B店　￥50,000

売上伝票　No.402
C店　￥70,000

振替伝票　No.301
借方：買掛金（D店）￥40,000
貸方：支払手形（D店）￥40,000

振替伝票　No.302
借方：裏書手形（E店）￥10,000
貸方：受取手形（E店）￥10,000

振替伝票　No.303
借方：受取手形（B店）￥80,000
貸方：売掛金（B店）￥80,000

〔解答群〕

ア　40,000円

イ　90,000円

ウ　100,000円

エ　240,000円

第 2 問

剰余金の処分において、株主に対して配当金 2,000 千円を支払うことを決定した。以下の資料に基づいて、会社法に従うとき積み立てるべき利益準備金の最低額はいくらか。最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資　料】

資　本　金　15,000 千円

資本準備金　 2,200 千円

利益準備金　 1,500 千円(既積立額)

〔解答群〕

ア　　0 千円

イ　 50 千円

ウ　200 千円

エ　250 千円

第 3 問

以下の株主資本等変動計算書に基づいて、当期末純資産合計として最も適切なものを下記の解答群から選べ。

（単位：千円）

	株主資本									純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
前期末残高	50,000	5,000	1,000	6,000	2,500		2,400	4,900	60,900	60,900
当期変動額										
剰余金の配当					600		△6,600	△6,000	（　）	（　）
別途積立金の積み立て						3,800	△3,800			
当期純利益							9,600	9,600	（　）	（　）
当期変動額合計					（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
当期末残高	50,000	5,000	1,000	6,000	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）

〔解答群〕

ア　56,000 千円

イ　59,100 千円

ウ　60,900 千円

エ　64,500 千円

第 4 問

キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金の範囲は、現金及び現金同等物である。現金同等物に含まれる短期投資に該当する最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。なお、ａ～ｅの資産の運用期間はすべて３か月以内であるとする。

ａ　株式
ｂ　株式投資信託
ｃ　コマーシャル・ペーパー
ｄ　定期預金
ｅ　普通預金

〔解答群〕

ア　ａとｂ
イ　ａとｃ
ウ　ｂとｃ
エ　ｃとｄ
オ　ｄとｅ

第 5 問

次に示す財務諸表に基づいて、以下の設問に答えよ(単位：千円)。

〈貸借対照表〉

	X1 年度末	X2 年度末		X1 年度末	X2 年度末
流動資産	35,000	29,000	流動負債	16,000	15,000
固定資産	95,000	91,000	固定負債	28,000	20,000
			純資産	86,000	85,000
資産合計	130,000	120,000	負債・純資産合計	130,000	120,000

〈損益計算書〉

	X1 年度	X2 年度
売上高	180,000	170,000
営業費用	150,000	152,000
営業利益	30,000	18,000
支払利息	1,000	800
経常利益	29,000	17,200
固定資産売却損	1,000	200
税引前当期純利益	28,000	17,000
法人税等	10,000	4,000
当期純利益	18,000	13,000

(設問 1)

収益性の動向に関する説明として最も適切なものはどれか。なお、比率の計算における総資本は年度末の金額を利用する。

ア　総資本営業利益率：悪化　売上高営業利益率：悪化　総資本回転率：改善

イ　総資本営業利益率：悪化　売上高営業利益率：改善　総資本回転率：改善

ウ　総資本営業利益率：改善　売上高営業利益率：悪化　総資本回転率：改善

エ　総資本営業利益率：改善　売上高営業利益率：改善　総資本回転率：悪化

（設問２）

安全性の動向に関する説明として最も適切なものはどれか。

ア　流動比率：悪化　　固定長期適合率：悪化　　負債比率：改善
イ　流動比率：悪化　　固定長期適合率：改善　　負債比率：改善
ウ　流動比率：改善　　固定長期適合率：悪化　　負債比率：改善
エ　流動比率：改善　　固定長期適合率：改善　　負債比率：悪化

第６問

以下の資料はＡ社の貸借対照表および関連する情報である。Ａ社を現金620,000千円で買収する際に生じる、会計上ののれんはいくらか。最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資　料】

貸借対照表

（単位：千円）

売掛金	200,000	借入金	300,000
棚卸資産	500,000	資本金	600,000
備　品	400,000	剰余金	200,000
	1,100,000		1,100,000

売掛金の時価　　150,000千円
棚卸資産の時価　　450,000千円
備品の時価　　220,000千円
負債の簿価は時価と等しい。

〔解答群〕

ア　のれん　　0千円
イ　のれん　　100,000千円
ウ　負ののれん　　80,000千円
エ　負ののれん　　180,000千円

第7問

損益計算上の利益が増加することに関する説明として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　生産コストが低減し、その他の条件に変化がないとすれば、利益が増加する。
b　生産量が減少し、その他の条件に変化がないとすれば、利益が増加する。
c　生産量が増加し、その他の条件に変化がないとすれば、利益が増加する。
d　販売量が減少し、その他の条件に変化がないとすれば、利益が増加する。

〔解答群〕

ア　aとb
イ　aとc
ウ　aとd
エ　bとd
オ　cとd

第 8 問

A 社の当期の売上高は 20,000 千円、費用は以下のとおりであった。なお、一般管理費はすべて固定費である。安全余裕率として最も適切なものを下記の解答群から選べ。

変動製造費用	5,000 千円
固定製造費用	9,000 千円
変動販売費	3,000 千円
固定販売費	800 千円
一般管理費	1,000 千円

〔解答群〕

ア　10.0 %

イ　10.9 %

ウ　25.0 %

エ　28.0 %

第 9 問

次にあげる費目のうち、労務費ではないものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　外注加工賃
b　雑給
c　従業員賞与手当
d　所得税預り金
e　割増賃金

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と d
ウ　b と c
エ　c と d
オ　d と e

第10問

標準原価計算を実施しているA社の当月に関する以下のデータに基づき、材料数量差異として最も適切なものを、下記の解答群から選べ。なお、材料は工程の始点で投入される。

直接材料費の原価標準データ

300円/kg × 3 kg ＝ 900円

当月の生産関連データ

当月材料消費量　3,100 kg　材料消費価格　310円/kg

月初仕掛品　　200単位

当月完成品　　900単位

月末仕掛品　　300単位

〔解答群〕

ア　不利差異　30,000円

イ　不利差異　31,000円

ウ　不利差異　61,000円

エ　不利差異　120,000円

第11問

以下のデータに基づき、期末仕掛品原価として最も適切なものを、下記の解答群から選べ。なお、材料は工程の始点で投入される。

・数量データ

当月投入　　800 単位

当月完成品　600 単位

月末仕掛品　200 単位　　(加工進捗度 0.5)

・原価データ

直接材料費　1,440 千円

加　工　費　1,400 千円

〔解答群〕

ア　　560 千円

イ　　710 千円

ウ　2,130 千円

エ　2,280 千円

第12問

現金の増加要因となりうるものとして、<u>最も不適切なものはどれか</u>。

ア　株主資本の減少

イ　現金以外の流動資産の減少

ウ　固定資産の減少

エ　負債の増加

第13問

ファイナンス・リースに関する記述として、最も不適切なものはどれか。

ア　ファイナンス・リース取引によるリース契約では、通常、借り手側は中途解約ができない。

イ　ファイナンス・リース取引によるリース物件の維持管理費用は、貸し手が負担する。

ウ　ファイナンス・リース取引によるリース物件は、借り手側の貸借対照表上で開示される。

エ　ファイナンス・リース取引によるリース物件は、借り手において減価償却費が算定される。

第14問

以下のデータからA社の加重平均資本コストを計算した場合、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

有利子負債額：4億円

株式時価総額：8億円

負債利子率：4％

法人税率：40％

A社のベータ(β)値：1.5

安全利子率：3％

市場ポートフォリオの期待収益率：8％

〔解答群〕

ア　5.8％　　イ　6.7％　　ウ　7.8％　　エ　8.3％

第15問

以下の文章の空欄A、Bに入る最も適切な語句の組み合わせを、下記の解答群から選べ。

完全市場を前提としたMM理論では資本構成と企業価値は独立であり、最適な資本構成は存在しないとされる。しかし現実には市場は不完全であり、MM理論は現実の企業の資本調達行動をうまく説明できていない。こうした中で現実の企業の資本調達行動を説明するための様々な仮説が提示されており、それらのひとつにペッキングオーダー仮説がある。この仮説によれば、経営者は資本調達において、まず［ A ］などの内部資金を優先し、ついで外部資金のうちでも社債発行などの［ B ］を優先するとされている。

〔解答群〕

ア　A：企業間信用　　B：エクイティ・ファイナンス

イ　A：企業間信用　　B：デット・ファイナンス

ウ　A：内部留保　　B：エクイティ・ファイナンス

エ　A：内部留保　　B：デット・ファイナンス

第16問

代替案の選択によって金額に差異が生じないコストであり、将来の意思決定に無関連な原価を表すものとして、最も適切なものはどれか。

ア　機会原価

イ　限界原価

ウ　裁量可能原価

エ　埋没原価

第17問

以下の文章の空欄A、Bに入る最も適切な語句の組み合わせを、下記の解答群から選べ。

投資プロジェクトの評価方法には、正味現在価値法のほか、［ A ］、回収期間法、会計的投資利益率法など多くの代替的手法がある。さらに近年では、不確実性の高い経営環境のもとで投資プロジェクトに対する経営の柔軟性を評価する［ B ］も提唱されている。

〔解答群〕

ア　A：線形計画法　　B：平均・分散モデル
イ　A：線形計画法　　B：リアル・オプション・アプローチ
ウ　A：内部収益率法　　B：マーケット・アプローチ
エ　A：内部収益率法　　B：リアル・オプション・アプローチ

第18問

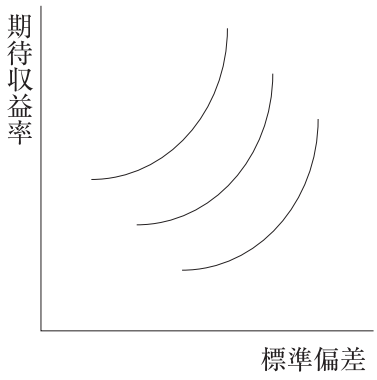
A社では、生産コストの低減を目的として新規設備の購入を検討している。新規設備の取得原価は4,500万円であり、その経済命数は5年である。また経済命数経過後の残存価額はゼロと見込まれている。A社では定額法によって減価償却を行っており、同社の法人税率は40％である。A社は当該投資案に対して回収期間法によって採否を決定することとしており、採択となる目標回収期間を3年と定めている。新規設備が採択されるために最低限必要とされる年間の生産コスト低減額として最も適切なものはどれか。なお、貨幣の時間価値は考慮せず、年間の生産コスト低減額は毎期一定である。また、当該投資案によって減価償却費以外の追加的費用は発生しない。

ア　　600万円
イ　　900万円
ウ　1,500万円
エ　1,900万円

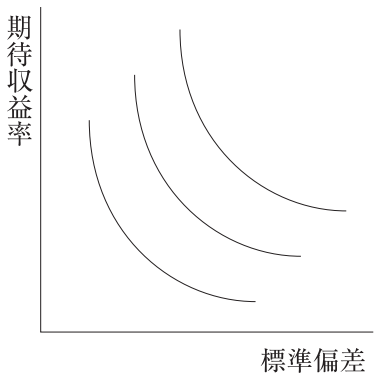
第19問

縦軸に投資の期待収益率、横軸に当該投資収益率の標準偏差をとった平面上におけるリスク回避者の無差別曲線を表す図形として、最も適切なものはどれか。

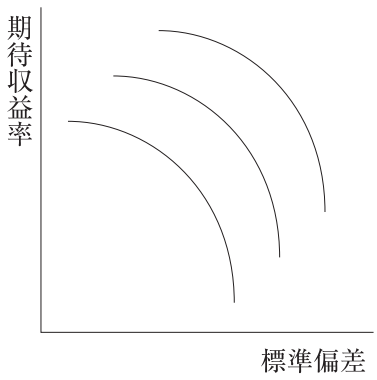
ア



イ



ウ



エ



第20問

次のデータに基づき、以下の設問に答えよ。

PBR	ROE	自己資本比率	配当性向	配当利回り
1.2	10 %	60 %	36 %	3 %

（設問 1 ）

自己資本配当率(DOE)として、最も適切なものはどれか。

ア　3.6 %
イ　7.2 %
ウ　21.6 %
エ　43.2 %

（設問 2 ）

PER として、最も適切なものはどれか。

ア　2 倍
イ　3.3 倍
ウ　12 倍
エ　40 倍

第21問

資本市場理論におけるベータ値に関する説明として、最も不適切なものはどれか。

ア　個々の証券の収益率の全変動におけるアンシステマティック・リスクを測定する値である。

イ　市場全体の変動に対して個々の証券の収益率がどの程度変動するかの感応度を表す値である。

ウ　市場ポートフォリオのベータ値は１である。

エ　ベータ値は理論上マイナスの値もとりうる。

第22問

輸入業を営むＡ社は、３か月後にドル建てで商品の仕入代金を支払う予定である。Ａ社が為替リスクをヘッジするときの取引として、最も適切なものはどれか。

ア　ドル売りの為替予約を行う。

イ　ドル買いの為替予約を行う。

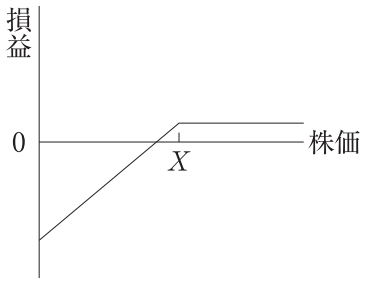
ウ　ドル建ての借入を行い、為替の直物レートで円を買う。

エ　ドルの３か月物コール･オプションを売る。

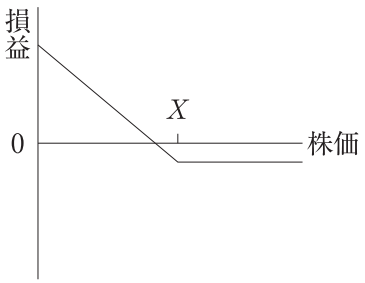
第23問

現物株１単位の買いポジションと当該株式を原資産とする個別株プットオプション１単位の買いポジションを組み合わせた戦略の損益を表す図表として、最も適切なものはどれか。なお、X は権利行使価格である。

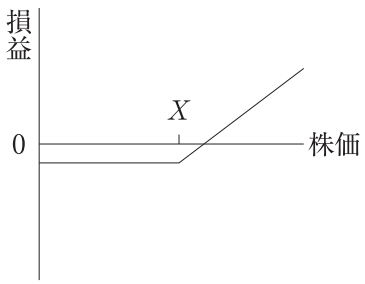
ア



イ



ウ



エ

